学内 Wi-Fi 接続設定(Windows11)

2022/01/19 Rev.1.0 情報センター

*貸し出し機器や共有機器等、不特定多数が利用する機器に関しては、

情報センターまでお問い合わせください。



1. スタートメニューから、「設定」をクリックします



2. 「ネットワークとインターネット」→「ダイヤルアップ」をクリックします



3. 「ネットワークと共有センター」をクリックします。

< ₽2		- 🗆 X
	··· > ダイヤルアップ 新しい接続を設定する	
 システム Bluetooth とデバイス ネットワークとインターネット 個人用設定 アブリ アガリント 時刻と言語 ゲーム 	 関連設定 アダブターのオブションを変更する ネットワークと共有センター Windows ファイアウォール ヘルプを表示 ア フィードバックの送信 	
 アクセシビリティ プライバシーンセキュリティ 	1	

4.「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。

ネットワークと共有センター		- 🗆 X
	ト → ネットワークと共有 ~ C	م
コントロール パネル ホーム	基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ	
アダプターの設定の変更 共有の詳細設定の変更	アクティブなネットワークの表示 現在どのネットワークにも接続して	ていません。
メディア ストリーミング オプション	ネットワーク設定の変更 新しい接続またはネットワークのセットアップ	
	フロードハンド、ジャトルテック、みたは vr vr 没続をセットアップ セットアップします。	′します。 あるいは、 ルーターまたは アクセス ポイントを
	 ウムートバンド、ノイドカケック、あんは WW 最続をセットアップ セットアップします。 問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシュ 	じます。あるいは、ルーターまたはアクセス ポイントを ι−テイングに関する情報を入手します。
関連項目	 ノロ・トノー・ノー・カワ・フノ、みには・・・・・ 安徳をセットアップ セットアップします。 問題のトラプルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラプルシュ 	'します。あるいは、ルーターまたはアクセス ボイントを ۱ーティングに関する情報を入手します。
関連項目 Windows Defender ファイアウォー ル	クロードパンド・アルファンス あたは ・・・・ 安認をセットアップ セットアップします。 ■ 問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシュ	します。あるいは、ルーターまたはアクセス ボイソトを ι−テイングに関する情報を入手します。

5.「ネットワークプロファイルを手動で作成します」→「次へ」をクリックします



6. 設定項目を下図の通りに設定し、「次へ」をクリックします。

ネットワーク名(<u>E</u>):	1863-hepburn	
セキュリティの種類(<u>S</u>):	WPA2-エンタープライズ	~
暗号化の種類(<u>R</u>):	AES	\sim
セキュリティ キー(<u>C</u>):		文字を非表示にする(<u>H</u>)
☑この接続を自動的	りに開始します(工)	
□ ネットワークがブロ	ードキャストを行っていない場合でも接続する	0(<u>0</u>)

7.「接続の設定を変更します」をクリックします。



8. 「セキュリティ」→「設定」をクリックします

1863-hepburn ワイヤレス ネッ	トワークのプロパティ	×
接続 セキュリティ		
	-	
セキュリティの種類(E):	WPA2 - エンタープライズ	~
暗号化の種類(<u>N</u>):	NES	~
ネットワークの認証方法の調	【択(<u>O</u>):	
Microsoft: 保護された EA	AP (PEAP) 🗸 設定	E(<u>S</u>)
	12.00/110921H 18 4K C (2/113 & (2)	
詳細設定(<u>D</u>)		
詳細設定(<u>D</u>)		
詳細設定(D)		

9.「サーバーの証明書を検証する」のチェックを外し、「構成」をクリックします。 「Windows のログオン名と…」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

保護された EAP のプロパティ	×	
接続のための認証方法:		
□ 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(<u>V)</u>		
○次のサーバーに接続する(例: srv1、slv2、*¥.srv3¥.com)(○);		
	_	
信頼されたルート証明礎間(比):		
AffirmTrust Commercial	1	
Baltimore CyberTrust Root	*	
Certum CA		本語主記になっている埋合もなりますが
Certum Irusted Network CA		天話衣記になっている場合ものりよりか
Class 3 Public Primary Certification Authority		
		回核にナエックを外して「UK」をクリックしてくたさい
接続前の通知(工):		
サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する	\sim	
		EAP MSCHAPv2 のプロパティ X
認証方法を選択する(<u>S</u>):		
セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) ~ 構成(C)	接続のための認証方法・
☑ 高速再接続を有効にする(E)		15 NOVICY VEB KEY J MAY
□ サーバーに暗号化バインドの TLV がない場合は切断する(D)		いにっしっ マロガナンダ とパフロードノナ トバビノノンドナ 5根
ID プライバシーを有効にする(j)		□ windows のロフォフィート(のよびトメイフルのの場) 会けドメインハを自動的に使う(A)
		日は「アイノ」を日期の「に使り(A)
	4	
OK ++v)		OK キャンセル

10. 一番下の「OK」をクリックします。

	R護された EAP のプロパティ	>
□ 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(少) □ 次のサーバーに接続する (例: srv1, srv2, :*4.srv3¥.com)(Q): □ (定報されたルート証明機関(£): □ AAA Certificate Services □ AffirmTrust Commercial □ Baltimore CyberTrust Root □ Certum CA □ Certum Trusted Network CA □ Class 3 Public Primary Certification Authority □ Cound CA □ Certum Trusted Network CA □ Class 3 Public Primary Certification Authority □ Cound CA □ Cound CA □ Certum Trusted Network CA □ Cert	妾続のための認証方法:	
	□ 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V)	
信頼されたルート証明機関(E):	□ 次のサーバー/*海峡する(例・cn/1_cn/2_*¥ cn/3¥ cn/	n)(O);
信頼されたルート証明機関(E): AAA Certificate Services AffirmTrust Commercial Baltimore CyberTrust Root Certum CA Certum Trusted Network CA Cass 3 Public Primary Certification Authority COMODO RSA Certi		
信頼されたリート証明機関(D): AAA Certificate Services AffirmTrust Commercial Baltimore CyberTrust Root Certum CA Certum Trusted Network CA Cass 3 Public Primary Certification Authority COMODO RSA Certification Authority Concent Annual UP and Caster 接続前の通知(D): サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する EXETA 方法を選択する(S): セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)		
AAA Certificate Services AffrmiTrust Commercial Baltimore CyberTrust Root Certum CA Certum Trusted Network CA Cass 3 Public Primary Certification Authority COMODO RSA Certification Authority COMODO RSA Certification Authority COMODO RSA Certification Authority Comodulate Commercial Kkinon通知①: サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する Commercial Extended Commercial Extended Commercial	信頼されたルート証明機関(E):	
Control Contro Control Control Control Control Control Control Control Control	AAA Certificate Services	
Baltimore CyberTrust Root ○ certum CA ○ Certum Trusted Network CA ○ Cass 3 Public Primary Certification Authority ○ COMODO RSA Certification Authority ○ CoMODO RSA Certification Authority ○ Composition Authority	AffirmTrust Commercial	
□ Certum CA □ Certum Trusted Network CA □ Class 3 Public Primary Certification Authority □ COMDO RSA Certification Authority □ ComDO RSA Certification Authority □ Marcel A and a D and a CA 接続前の通知①: サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する 図証方法を選択する(S): セキュリティで保護されたパ(スワード [EAP-MSCHAP v2) ● Case Comparison	Baltimore CyberTrust Root	
Certum Trusted Network CA Class 3 Public Primary Certification Authority COMODO RSA Certification Authority Communication Authority Set 2012 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10	Certum CA	
□ Class 3 Public Primary Certification Authority □ COMODO RSA Certification Authority □ Concert Authority	Certum Trusted Network CA	
COMODO RSA Certification Authority Control (1997) 接続前の通知(1): サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する び匹方法を選択する(5): セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) 種成(C)	Class 3 Public Primary Certification Authority	
	COMODO RSA Certification Authority	
接続前の通知①: 按続前の通知①: サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する 認証方法を選択する(S): セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) 構成(Q)		
接続前の通知[]: サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する 認証方法を選択する(S): セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) ダ 構成(<u>C</u>)		
サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する 認証方法を選択する(S): セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) ダ 構成(C)	接続前の通知(1):	
認証方法を選択する(S): セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) / 構成(C)	サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する	×.
認証方法を選択する(S): セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) / 構成(C)		
セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) / 構成(C)	認証方法を選択する(<u>S</u>):	
	セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)	✓ 構成(<u>C</u>)
	□ サーハーに暗号化ハイントの ILV かない場合は切断する(U	9
サーバーに暗号化バインドの TLV かない場合は切断する(D)	□ ID ブライバシーを有効にする(1)	
」サーハーに暗号化ハイントの TLV かない場合は切断する(<u>D</u>) □ ID ブライバシーを有効にする(<u>I</u>)		
」サーバーに暗号化/イントのTLVかない場合は切断する(型) □ ID ブライバシーを有効にする(I)		
」 サーバーに増考化/パイントの TLV かない場合は切断する(型) □ ID プライパシーを有効にする())		
」サーバーに増考化パイントの TLV かない場合は切断する(型) □ ID ブライパシーを有効にする(I)		
」サーバーに増考化パイントの TLV かない場合は切断する(D) □ ID ブライバシーを有効にする() OK キャンセル	OK	キャンセル

11.「詳細設定」をクリックし、「認証モードを指定する」のチェックを入れてから
 「ユーザー認証」を選択した後、「資格情報の保存」をクリックします

1863-hepburn ワイヤレス ネ	ットワークのプロパティ	×	詳細設定	×
接続 セキュリティ			802.1Xの設定 802.11の設定	
			図証モードを指定する(P):	
セキュリティの種類(<u>E</u>):	WPA2 - エンタープライズ	~	ユーザー認証	資格情報の保存(C)
暗号化の種類(<u>N</u>):	AES	<u> </u>	□ すべてのユーザーの資格情報を削除する(<u>D</u>)	
			このネットワークに対するシングル サインオンを有効	cđ බ(<u>S)</u>
ネットワークの認証方法の	選択(<u>O</u>):		● ユーザーログオンの直前に実行する(E)	
Microsoft: 保護された I	EAP (PEAP) 🗸 設定(2		○ ユーザー ログオンの直後に実行する(E)	
🔽 ログオンするたびに、こ	の接続用の資格情報を使用する(2)		最大待ち時間 (秒)(<u>M</u>):	10
			📴 シングル サインオン中に追加のダイアログの表示	示を許可する(<u>L</u>)
			 このネットワークでは、コンピューターとユーザーの LAN を使用する(V) 	認証に別の仮想
詳細設定(<u>D</u>)				
	ОК	キャンセル	0	K キャンセル

12. MAIN アカウントの ID とパスワードを入力し、「OK」をクリックします

資格情報の保存	
資格情報を保存すると、ログオンして ままできる トラント・レーナ・アランプログ	いなくてもコンピューターがネットワークに
安続 じさるように なります (史新ノロク	/フムをグリノロート9 る場合など)。
ユーザー名	
ユーザー名 パスワード	
ユーザー名 パスワード	

13. 下記画面をすべて閉じます

詳細設定 ×	1863-hepburn ワイヤレス ネットワークのプロパティ	×
802.1Xの設定 802.11の設定	接続 セキュリティ	
❷ 認証モードを指定する(₽):		
ユーザー認証 / 資格情報の保存(C)	セキュリティの種類(E): WPA2 - エンターブライズ ~	
□すべてのユーザーの資格情報を削除する(<u>D</u>)	暗号化の禮類(<u>N</u>): AES ~	
このネットワークに対するシングルサインオンを有効にする(S)		
○ ユーザー ログオンの直前に実行する(E)	ネットワークの認証方法の選択(<u>0</u>):	← 🔮 ワイヤレス ネットワークに手動で接続します
○ ユーザー ログオンの直後に実行する(E)	Microsoft: 保護された EAP (PEAP) ジン 設定(S)	
最大待ち時間(秒)(≦): 10 ◆	ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)	正常に 1863-hepburn を追加しました
シングルサインオン中に追加のダイアログの表示を許可する(L)		
○このネットワークでは、コンビューターとユーザーの認証に別の仮想 LAN を使用する(y)		→ 接続の設定を変更します(土) 接続のプロパティモ製き、設定を変更します。
	詳細設定(<u>D</u>)	
OK +7/2/	OK 477	

14. 下記画面になっていれば、接続は正常に完了しています

1962 hopburn	土壤结	炒肉エード
noos-nepbum	不过机	126 P 3 C - 1-
Ð	S	\$\$ >
パッテリー 節約4単能	集中モード	アクセシビリティ
;o:		
⊲×		>
01%		0 8

MAIN パスワードを変更した場合、Wi-Fi 設定も再度行う必要があります。 既存の設定を一旦削除し、本設定手順に従って再度設定をしてください。

Wi-Fi 接続の設定をした後は Wi-Fi のエリア内では、自動的にネットワークへ接続して しまうため、所有者と利用者が異なることによるトラブルを回避するという観点から 機器を他人に貸さないよう留意してください。

以上